

令和4年度県が実施する職業訓練の重点事業

1 IT関係の人材育成

(1) 離職者向け職業訓練

ITスキルレベル（1～7）のうち、1（初級）～3（応用）までの様々なコースを設置。加えて、企業において働きながら実践的訓練（OJT）を行うIT雇用型訓練を実施。

① IT系の委託訓練 【国委託10/10】R4定員420人

主なコース名	目標資格	R2	R3	R4	スキルレベル
情報システム科(2年)	応用情報技術者	35	35	35	3
プログラマー養成科(6か月)ほか	基本情報技術者	45	210	210程度	2
Webクリエイター科(ほか(4～6か月))	Webクリエイター等	90			
IT活用基礎科(4か月)ほか	ITパスポート等	145	175	175程度	1
合計		243	420	420	-

<実施状況> (単位：人 令和3年12月末現在)

年度	計划定員	募集定員	受講者	修了者	就職者	就職率
R2	315	271	236	218	144	66.1%
R3	420	321	247	141	37	26.2%

計划定員は予算上の定員。募集定員は開講したコースの定員。R3は途中経過

② IT雇用型訓練 【地プロ活用・国補助4/5】R4定員18人

- ・公的職業訓練の枠組では対応できない人材育成の取組について「地域活性化雇用創造プロジェクト事業」の制度を活用して、ものづくり及びIT分野の安定的な人材確保を目指す。
- ・企業において働きながら実践的訓練（OJT）を3か月間受講し、その後正社員を目指す。

<R3実施状況> 定員：18人 受講者：8人（R4.1.21現在）

(2) 在職者訓練（製造業のデジタル化対応） 【地プロ活用・国補助4/5】R4定員500人

情報通信業、製造業者の事業所に在籍する労働者及び就職氷河期世代を含む非正規労働者、当該分野への就職希望者に対して、AI・IoT機器活用などのIT分野に関連する内容を実施

- ① IoT基礎（センサ技術）
- ② 制御、ロボット操作（シーケンス制御）
- ③ プログラム、データ分析
- ④ 販路拡大（EC導入、Web用）など

<R3実施状況>

設定コース数75、定員742人 受講者304人（受講者はR3.12開講分まで）

(3) ITスキルアップ訓練 【R3 コロナ臨交→R4 国交付金】R4 定員 150 人

- ・主に非正規雇用労働者向けにオンラインを活用した訓練を実施
- ・PC操作、Webマーケティングなど1～2か月のコースを設定

<R3 実施状況 (R3.12 月末現在)>

セミナー参加者 184 人 (うち女性 93 人)
 スキルアップ訓練受講者 64 人 (うち女性 52 人)



2 介護分野の人材育成

目指す資格	実施形式	R2	R3	R4	備考
介護職員初任者 (旧ヘルパー2級相当)	(1) 委託訓練	550	550	520	2～3か月間
	(2) 福祉施設等での訓練	-	-	30	福祉施設等で一人から実施する訓練
介護職員実務者 (1級相当)	(1) 委託訓練	60	60	60	6か月間
介護福祉士(国家資格)	(1) 委託訓練	50	50	50	専門学校で2年間受講
合計		660	660	660	

(1) 離職者向け職業訓練 【国委託金 10/10】R4 定員 630 人

民間教育訓練機関等への委託訓練として実施 (上表の実施形式(1))

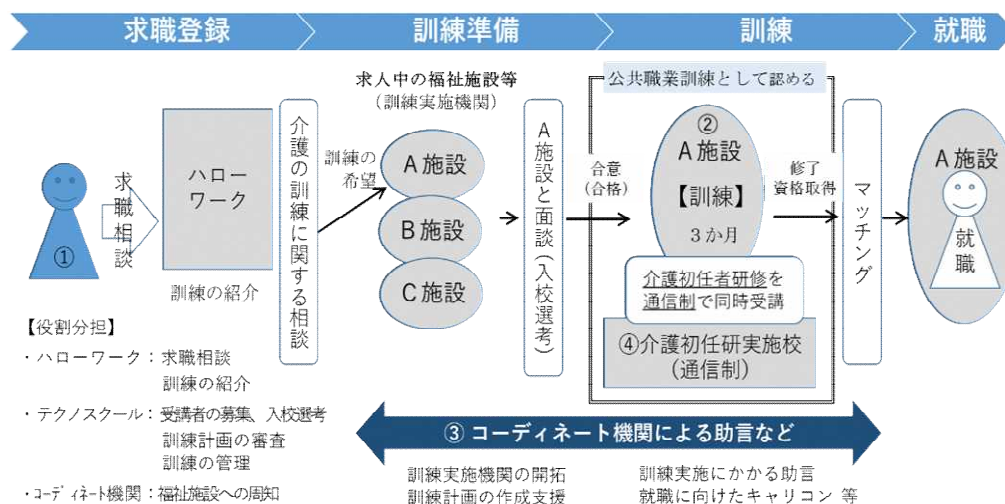
<実施状況> (単位: 人 令和3年12月末現在)

年度	計画定員	募集定員	受講者	修了者	就職者	就職率
R2	677	297	213	203	177	87.2%
R3	647	262	179	116	77	66.4%

計画定員は予算上の定員。募集定員は開講したコースの定員。R3は途中経過

(2) 介護人材育成訓練 【R3 コロナ臨交→R4 国交付金】R4 定員 30 人

福祉施設等を会場として公共職業訓練を行うことにより、これまで開講していなかった地域において、不足する介護現場の人材育成と雇用の安定を図る。



3 新型コロナウイルス感染症拡大の影響への対応

(1) 職業訓練

ア 離職者向け職業訓練における優先枠設定

新型コロナウイルス感染症の影響により離職者に対し、円滑な再就職を支援するため優先的に職業訓練を受講できるよう優先枠を設定

○ 利用実績

- ・ 令和3年度：37 コース・61 名（令和3年12月末現在）
- ・ 令和2年度：43 コース・63 名

イ テクノスクールにおける職業訓練

手洗いや咳エチケットなど保健管理を徹底し、換気の徹底、多くの人が密集しない、近距離での会話や大声を控えるなど3つの条件が同時に重なる場を避けるよう環境を良好に保つことなどの措置をとっている。

また、新しい生活様式を取り入れ、訓練実施者(テクノスクール、委託先)だけでなく受講者に対する意識と対応を徹底している。

ウ 離職者向け職業訓練の定員拡充

感染症の影響への対応として、令和2年度9月補正で定員を拡充（+225人）。

令和4年度は、令和2年度当初定員と同数としたが、年度途中で雇用情勢が悪化した場合は、補正予算による定員の拡充など必要な措置を講ずる。

(2) テクノスクールにおけるオンライン訓練の導入

感染症対策としての授業方法の拡充はもとより、テクノスクール4校間での横断的な授業や外部講師の活用等の、場所にとらわれない授業の実施や、高度な技能を習得するための作業の映像化など、新しい授業のスタイルを推進し、一層の知識及び技能の習得を図る。

実施項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度以降
(1)調査	テクノ通信環境確認 通信速度など確認	訓練生通信環境調査	
(2)機器導入	機器整備（2月末）		
(3)試験稼働		①ソフト導入 ZoomのID取得など ②稼働テスト ③通信環境試験 「テ⇄生徒」及び「テ⇄テ」 ⑤通信環境強化	
(4)WG設置		各校からメンバーを招集 → ①研修受講 ②問題点の洗い出しと解決策の検証 ③オンライン訓練実施可能科目の抽出 ④指導員全員に対する模擬授業の実施	
(5)本格稼働		一部の授業でオンライン授業実施 本格稼働の準備(6月) 訓練計画策定 4年度入校生にオンライン授業のための機器準備を周知	本格稼働 →
(6)訓練技法開発			①コンテンツの作成 ②サイト構築 →